

大天表 然現

松本直樹
Naoki Matsumoto

郡司へぎ才幸夫
Pegio Yukio Gunji

中村恭子
Kyoko Nakamura

Natural Born Expression

投錨するアート

Anchoring Art

2024 7.2 (Tue) ... 8.4 (Sun)

展覧会記念トークイベント
投錨するアート

7.7 (Sun)
14:30-16:00

参加料 | 無料・事前予約不要
会場 | 中之島芸術センター3階スタジオ

作品は何かを表現しない。
何かを主張しない。
問題提起などしない。
作品は、制作の体験を志向し、
体験を召喚した大海原の一点にあたりをつけ、
投げ込まれる錨のようなものだ。
そこに立ち、その場所から網を入れることで、
作家や鑑賞者は、
また新たな形で体験を召喚可能とする。
錨は、行こうとする船と行かせまいとする
海の間を翻弄されながら、
その葛藤を無効にするべく着底する。
繊細に推し計りながら、
しかし最後は、賽を振るよう投げ込まれる。
その賭けに論理的必然性はなく、
表現、主張、問題提起の余地などない。
極めて危険なその賭けは、
だからこそ外部に触れる。
それが創造であり、芸術なのである。

天然表現

Natural Born Expression:



fig.01
《きつちよむの壺 わつとひろげる》
古信楽(伝室町時代)を切断、継ぐ、
34×34×42.5cm、2015

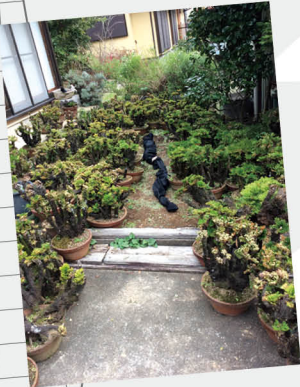


fig.02
《水は時折、とりわけ夜になると》
喪服・イフビバ、2022



fig.03
《風景の肉体——湿地の王》
一幅、絹本彩色、
127.8×51 cm、2023

出品作家プロフィール

松本直樹 fig.01

Naoki Matsumoto

美術家、長野美術専門学校副校長、
ミルク倉庫+ココナッツメンバー

1982年長野県生まれ。2007年東京芸術大学大学院美術研究絵画科修士課程修了。2004—2007年四谷アート・ステュディオ在籍。既製品や日用品などを用いて、従来の絵画技法や諸造形の要素を分解、その機能を再構築する。主な展覧会に「ナガノオルタナティブ 松本直樹展」(FLATFILE SLASH 倉庫ギャラリー/長野 2017)、「国際芸術祭 あいち2022」など。

<http://matsumotonaoki.com/>

郡司ペギオ幸夫 fig.02

Pegio-Yukio Gunji

早稲田大学理工学術院
基幹理工学部・研究科教授

2022年より身の回りの素材を用いてモノと空間の構成を始める。主な展覧会に「もんぜん千年祭2024」(西之門よしのや北蔵/長野2024)、「BOG BODY 召喚される身体」(中村との共同展、Art Space Kimura ASK/東京、2024)など。著書に『創造性はどこからやって来るか——天然表現の世界』(ちくま新書、2023)、『天然知能』(講談社選書メチエ、2019)など。

<http://www.yjpg.ias.sci.waseda.ac.jp/index.html>

中村恭子 fig.03

Kyoko Nakamura

日本画家、大阪大学中之島芸術センター准教授

2010年東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻日本画研究領域博士課程修了、博士(美術)。日本画と論考による実践研究を行う。主な展覧会に中村恭子日本画作品展「風景の肉体」(大阪大学中之島芸術センター/大阪2023)、中村恭子日本画作品展「脱創造する御柱」(諏訪市美術館/長野2022)など。著書に『TANKURI 創造性を撃つ』水声社(2018、郡司との共著)など。

<http://www.kyokonakamura.jp/>

会期 | 2024年7月2日[火]—8月4日[日]月・祝休館

開場時間 | 10:30—17:00

入場料 | 無料

主催 | 大阪大学中之島芸術センター
助成 | 科研費基礎研究 ©23K00237, 22K12231

協力 | たかとり工務店(会場設営)、縹織友洋(デザイン)

問合せ先 (E-mail) |
secretary.art@ml.office.osaka-u.ac.jp
(大阪大学中之島芸術センター)
kyoko.art@osaka-u.ac.jp (中村恭子)

大阪大学中之島芸術センター

科研費
KAKENHI

会場

大阪大学中之島芸術センター
〒530-0005 大阪府北区中之島4丁目3番33
大阪大学中之島センター4階 大阪大学中之島芸術センター展示室



アクセス

電車をご利用の場合

- 京阪中之島線 中之島駅、渡辺橋駅より徒歩約5分
- 阪神本線 福島駅、JR東西線 新福島駅より徒歩約9分
- JR環状線 福島駅より徒歩約12分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より徒歩約16分

展覧会記念トークイベント 投錨するアート

「投錨する」は、
郡司の執筆中の新著で示された
創造行為の様式を表すものである。
この意味を、
それぞれの作家・研究者が
自身の実践を踏まえて議論し脱線する。

登壇者

郡司ペギオ幸夫 (天然知能研究・天然表現)、
松本直樹 (現代美術)、
中村恭子 (日本画)

期日 | 2024年7月7日 [日] 14:30—16:00

参加料 | 無料・事前予約不要

会場 | 中之島芸術センター3階スタジオ

Anchoring Art

投錨するアート

体験を召喚した大海原の一点にあたりをつけ、
投げ込まれる錨のよじなものを

だからこそ外部に触れる。
極めて危険なその賭けは、